

2025年開催「TICAD9」（アフリカ開発会議）神戸招致を望む 3,700名を超える署名を神戸市・市会に提出

7月15日（金）14:15～@ 神戸市役所本庁舎1号館

アフリカミーツ関西実行委員会（所在：芦屋市 代表：センダ・ルクムエナ）（協力：神戸情報大学院大学（所在：神戸市中央区 学長：炭谷俊樹））は、2025年に予定されているTICAD9（TICAD8は今年8月にチュニジアで開催予定）の開催地として神戸市に招致しようと、5月より署名活動を行って参りました。

現時点でデジタル版と手書き版の合計3,700件超の署名が寄せられたことを受け、2022年7月15日（金）14時15分より神戸市市役所本庁舎1号館（神戸市中央区加納町6丁目5-1）にて神戸市市長室、神戸市会池正副議長、日本・ルワンダ友好神戸市会議員連盟守屋隆司会長へ提出します。

大阪・関西万博と開催年が同時となったTICAD9を神戸市に招致し、2025年には真の意味で大阪・関西、そして神戸を日本の新たな成長の起点として世界に発信すべく、ご取材のご検討を宜しくお願い致します。

■スケジュール概要

日時	2022年7月15日（金）14時15分～15時30分（予定）
場所	神戸市市役所本庁舎1号館（神戸市中央区加納町6丁目5-1） 報道関係者様 集合：14時15分 場所：神戸市市役所本庁舎1号館1階市民ロビー
主催	アフリカミーツ関西実行委員会 協力：神戸情報大学院大学
出席者	アフリカミーツ関西代表：センダ・ルクムエナ （神戸情報大学院大学教授、コンゴ民主共和国出身） アフリカミーツ関西事務局長：半澤 美紀 委員（特別顧問）：福岡 賢二 （神戸情報大学院大学・神戸電子専門学校常務理事）
内容	14:15～ 報道関係者様へ本件の趣旨説明（神戸市市役所本庁舎1階市民ロビー） 14:30～ 神戸市 久元喜造市長に向けて市長室を通じて提出※久元市長は出席されません 15:00～ 神戸市会 坊池正副議長へ提出 15:15～ 日本・ルワンダ友好神戸市会議員連盟 守屋隆司会長へ提出



5月上旬三ノ宮駅前での署名呼びかけ

■アフリカミーツ関西実行委員会について

関西地域とアフリカはこれまで経済、文化、教育等あらゆる分野で長きに渡り深い関係性を育んできました。なかでも、日本最大級のアフリカ文化交流イベントである「アフリカミーツ関西」は、機会に恵まれないアフリカの子どもたちに、より良い学習環境を提供するための「電気を届けるプロジェクト」を始めとする活動の周知と基金を集めるため、神戸を中心に10年以上に渡り毎年開催されてきた代表的なイベントです。お互いの国を知ることによって共感をもって交流出来るよう、音楽をはじめ、サプールのファッションショーや、展示・販売ブースを展開し交流の場として今年も開催します。

■神戸情報大学院大学（KIC）について

2005年に設立。神戸電子専門学校を運営する「学校法人コンピュータ総合学園」が母体の専門職大学院です。日本政府奨学制度「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ」等を通してアフリカ32ヶ国から145名の留学生（JICA短期課題別研修を含むと35ヶ国から201名）が学んでおり、修了生は神戸、日本、アフリカ、及び世界各地で活躍しています。近年、「日本／世界銀行 共同大学院奨学金制度（JJ/WBGSP）」採択校（2020～2021年度）、独立行政法人 国際協力機構（JICA）理事長賞（2019）受賞他実績多数。

【取材申込書】

7月15日(金) 14:15~15:30(予定) @神戸市市役所本庁舎1号館
2025年開催「TICAD9」(アフリカ開発会議)神戸招致を望む
3,700名を超える署名を神戸市・市会に提出

申込書送付先：神戸情報大学院大学 広報担当：西村・齊藤 宛

MAIL



pr@kic.ac.jp

FAX



078-262-7737

■ 申込情報記入欄

貴社名	
媒体名	
ご担当者様 氏名	
ご所属部署	
電話番号	
メールアドレス	
来場予定人数	名様
カメラ	<input type="checkbox"/> スチール <input type="checkbox"/> ENG
備考	

※ご参考



第9回アフリカ開発会議(TICAD IX)神戸 開催招致御賛同のお願い



謹啓

2025年に大阪・関西万国博覧会を控え、我が国の新たな成長はまさに関西から始まろうとしています。

一方、日本政府と国連、国連開発計画、世界銀行、アフリカ連合委員会が協働で3年ごとに開催している「アフリカ開発会議(TICAD)」は、2022年夏に第8回をチュニジア共和国で開催し、次回である2025年には日本での開催が予定されていますが、開催地は未定の現状です。(これまでの開催地 第1~3回:東京、第4、5回:横浜、第6回:ケニア、第7回:横浜)

関西地域とアフリカは、これまで経済、文化、教育等あらゆる分野で長きに渡り、深い関係性を育んできました。

なかでも、日本で最大級のアフリカ文化交流イベントである「アフリカミーツ関西」は代表的であり、神戸を中心に10年以上に渡り毎年開催されてきました。

また神戸市内ICT専門職大学院「神戸情報大学院大学」には日本政府奨学制度「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ」等を通してアフリカ32ヶ国から145名の留学生(JICA短期課題別研修を含むと35ヶ国から201名)が学んでおり、修了生は神戸、日本、アフリカ、及び世界各地で活躍しています。

つきましては、偶然にも大阪・関西万博と開催年が同時となったTICADを、神戸市に招致することで、2025年には真の意味で大阪・関西、そして神戸を日本の新たな成長の起点として世界に発信すべく、皆様へ御賛同をお願いする次第でございます。

是非とも下記フォームで御署名頂き、2025年にアフリカ54か国の国家元首を神戸にお招きし、関西圏のパワーあふれる可能性を、アフリカの方々と共にダイナミックに議論し協働を開始すること、御支援いただければ大変幸いです。更には皆様によるSNS等での本件情報拡散にもご協力くださいますようお願い申し上げます。

謹白

2022年7月吉日

アフリカミーツ関西実行委員会

代表: センダ・ルクムエナ(神戸情報大学院大学教授、コンゴ民主共和国出身)

委員(特別顧問): 福岡 賢二(神戸情報大学院大学・神戸電子専門学校常務理事、神戸出身)

委員(顧問): ウスビ・サコ(京都精華大学教授・前学長、2025大阪/関西万博協会副会長、マリ共和国出身)

委員: クパニ・ルンビディ(和歌山大学名誉教授・前副学長、コンゴ民主共和国出身)

<お寄せいただいたコメント一例>

・神戸市内から

「神戸招致を応援します。神戸を盛り上げてください。」(高校生)

「規模がデカくて漠然としたものしか分かりませんが、少しでもお力になればと思います今回名前を綴らせていただきました。頑張ってください。」(専門学校生)

「海外と歴史的に深い繋がりのある神戸が日本をアフリカとつなげる架け橋となるのは非常に意義のある事だと思います！神戸での開催に強く賛同します！」(大学生)

「神戸市はすでにルワンダなどアフリカとの結びつきも深く、最適な都市だと思います。」(会社員)

「2025年のTICADが神戸で開催され、神戸・関西とアフリカ各国との絆が深まり、双方の産官学の交流が活性化し、アフリカと日本が共栄する未来を願っています。」(大学職員)

「関西大阪万博開催の年、阪神・淡路大震災から30年目の年に開催することは、大変意義があると思います。」(政治家)

「賛同致します」(コンビニ・パート店員)

「神戸市は、アフリカとの経済交流を積極的に実施しており、アフリカに関連する若手の起業家・活動家もおります。若きアフリカのアントレプレナーと、神戸を中心に集まる日本の若手のアントレプレナーの交流は、とても意義あることだと考えます。」

(スタートアップ役員)

「復興した神戸が盛り上がってくれたら嬉しいです。」(個人)

「是非ともTICADを(地方都市)神戸にも誘致して、国際交流都市神戸、国際貿易都市の再興隆の一契機とさせて下さいませ。」(個人事業主)

・神戸市外から

「神戸開催に賛成です。」(兵庫、中学生)

「アフリカと神戸の取り組みや、UnopsのSDGsチャレンジなどを万博のタイミングで更にブーストすれば、社会課題の解決策をたくさん集積し、世界に広げていけると思います。」(兵庫、会社役員)

「神戸は国際色も豊かでコンパクトシティで、伝統文化、観光、食に富んだ街。関東や関西他府県からだけでなく、中国、九州からもアクセスがいいので、開催に強く賛同いたします。」(九州、会社役員)

「神戸で開催されることを確信しています。神戸からのあらゆる取り組みを応援しています。」(東京、元外交官)

「Kobe is the place to be. Beautiful place with great minds that can pull off this conference」(アフリカ、団体職員)

「アフリカサイドでもナイロビやチュニスなど様々な街で開催されるように、日本でも様々な街で開催されるようになるといいと思います。アフリカの方達に日本のそれぞれの街について知っていただけると同時に、日本の各地の人たちにもアフリカにより関心を持っていただける機会だと思うからです。」(アフリカ、スタートアップ役員)

御賛同いただける方は
右のQRコードにて
署名にご参加ください

